

令和7年度健康福祉サービス自己評価結果 草津中央おひさまこども園

就学前のこどもに関する教育、保育等の総合的な提供の促進に関する法律施行規則第23条により、幼保連携型認定こども園においては、自己評価結果の公表が義務付けられています。よって、本園ではこれに基づき自己評価について公表します。

評価日： 令和8年1月31日 対象者：60名

自己評価結果	
A	85%以上 よくできている
B	65%以上 できている
C	50% 検討が必要

評価項目	結果	取り組み状況
理念・基本方針	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画、年間、月案、週案の指導計画を基に、保育を実施している。年度ごとに計画の見直し検討、改善が定着してきている。 ・全職員で年度初めに共通理解を図り、職員室に今年度の基本方針を掲示し年間を通して各職員が意識できるようにしている。職員の入替わりや、人数の規模が大きいため今後も周知の徹底には工夫、改善が必要
福祉人材の確保・育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に実習生やボランティアを受け入れ、草津市の保育に魅力を感じてもらえる機会を設けている。学生が手応えを感じて、就学前教育・保育に関心を持ち草津市の保育の担い手になりたいと希望してもらえるように引き続き努力する。
こどもの人権を 尊重した保育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利条約に基づき、こどもの最善の利益を考えて一人ひとりに合わせた保育を行っている。 ・人権保育研修、園内研究、保育会議を通して、普段の自分たちの保育を見つめなおす機会を設けている。今年度は全保育教諭が保育会議に参加しそれぞれの立場から保育を見直すことができた。今後も、引き続き子どもの人権を意識した保育をしていくために保育会議の充実を図る。
保育内容の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児が地域に出かけ地域の方々や小学校探検や買い物体験、他園の子どもたちと交流を通じ子どもたちの社会性の育ちや、就学への期待感が見られた。今後は5歳児以外の学年も発達に合わせた地域交流を保育の中に積極的に取り入れていきたい。 ・定期的に保健指導を看護師や養護教諭が実施し、こども自身が自分の体を大切にすることを学ぶ機会がもてた。

次年度への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの人権を大切にした保育の充実のために保育会議の回数を増やし職員が人権の学びを深めていく。 ・地域交流をより充実し、それぞれの学年に応じた交流を図る。
総評
<p>・こどもたちが笑顔でのびのびと成長していける場所であるために「安心」「安全」を一番大切にそれぞれの立場の職員が園運営に取り組んでいる。保健指導やこどもが楽しく食事ができるよう健康面での安全にそれぞれの立場の職員が連携して取り組むことができた。園内の安全、清潔は毎日の掃除や遊具点検、園周りの安全点検を実施している。こどもの「もっとやりたい」という意欲には日々の保育環境を個々のこどもの姿に合わせて整え、一人ひとりに寄り添う保育に取り組んでいる。これからもこどもたちが安心して自分らしく過ごせる場所であるように園全体で今後も取り組みを進めていく。</p>